

# 「頻出論理マーカ―」のまとめ

## 1. 「論理マーカ―」とは？

論理マーカ―とは、前後をある種の論理で結びつける語句のこと。discourse marker とも呼ばれている。論理マーカ―は品詞としては「接続詞」「副詞」「前置詞(句)」等がある。みんなに一番おなじみの論理マーカ―は however, for example, そして therefore だろう。however は「しかしながら」という意味で、前後を「逆接(対比)」の(論理)関係で結びつけるネ。

(ex) She believed the story; however, her husband didn't believe it.

彼女はその話を信じた。しかしながら、夫はそれを信じなかった

上の英文でも however の前後は「信じる」「信じない」と、逆の(対比的な)関係になっている。

for example は「例えば」という意味で、前後を「抽象とその具体例」のイコール関係で結びつける。

(ex) There are a lot of domestic animals on the farm; for example, cows, horses and pigs.

その農場には多くの家畜がいる。たとえば乳牛、馬、豚などだ

上の英文でも for example 以降は、(その農場の)家畜の具体例であり、両者は(内容的に)イコール関係だ。

therefore は「それ故」「だから」という意味で、前後を「原因と結果」の(論理)関係で結びつける。

(ex) I've never been to The U.S.; therefore I don't know much about it.

アメリカへは1度も行ったことがない。だからよく知りません

上の英文でも therefore の前後は「原因と結果」の関係になっているのがわかる。

論理マーカ―についての知識を問う問題は、センターの第二問Aの文法・語法問題でも時として出題されることがある。

(1) After many years of war, the country has lost much of its power. □, its influence should not be underestimated.

- ①Even so                      ②Even though    ③So                      ④Thus

(2) It's too late to go out now. □, it's starting to rain.

- ①All the same              ②At least              ③Besides              ④Therefore

【解説】

(1)まず②(Even though)は節(S+V)と節(S+V)をつなぐ接続詞。直後がカンマで区切られて使われることはないなのでこれは違うとわかる。

(ex) Even though he is over eighty, he can walk pretty quickly.

S+V                                      S+V

彼は80歳を越えているがかなり速く歩ける

空欄の前の英文は「長年の戦争の後、その国は大半の力を失ってしまった」。空欄の後ろの英文は「その影響力は過小評価されるべきではない」。空欄の前後の内容は対照的であることがわかる。このような(論理)関係で前後を結びつけることができるのは①(Even so)しかない。意味は「たとえそうだとしても」。ちなみに③(So)と④(Thus)は「したがって」という意味で、前後を「原因(理由)と結果」の関係で結びつける。

(ex) He got quite excited, so he didn't feel sleepy at all.

彼はすっかり興奮したので少しも眠いと感じなかった

You failed all your tests. Thus you can't graduate.

君は全部のテストに落ちた。従って卒業できない

(2)空欄の前の英文は「今は外出するには遅すぎる」。空欄の後ろの英文は「雨が降りだした」。空欄の後ろは、「遅すぎる」という外出しない方がいい根拠に対するつけ加え的な内容(更なる根拠)になっている。このような(論理)関係で前後を結びつけることができるのは③(Besides)しかない。意味は「おまけに」。

①(All the same)は「にもかかわらず」という意味で、前後を逆の(論理)関係で結びつける。

(ex) Her parents opposed it - all the same, she got married to Bob.

彼女の両親は反対した。それでも彼女はボブと結婚した

② (At least)は「少なくとも」という意味で、単独では論理マーカ―とは言えない。but 等とセットで but at least という形で用いられることがあるが、その場合は(but at least ワンセットで)「逆接」の論理マーカ―ということになる。

(ex) This carpet was not good, but at least it was cheap.

このカーペットは良くはなかったが、とにかく安かった

「論理マーカ―」を問う問題は、センター試験では(上記の文法・語法問題以外では)以前は第三問であったんだけど、ここ数年は姿を消している。ただ、第三問以降の長文を扱う問題を解く上で、この論理マーカ―が解法のヒントになることがよくある。したがって、論理と、頻出の論理マーカ―についての正確な知識は、センターで高得点を取る上でどうしても必要なものなんだ。

## 2. 「論理」とは?

「論理」というと、なにかそれだけで難しく聞こえるかもしれない。でも実はそんなに大したものではないんだ。なぜなら結局のところ「論理」といってもそれは3種類しかないからだ。具体的には以下の3つがそれだ。

(1)  $A \Leftrightarrow B$

前後が内容的に「逆(又は対照的・対比的)」の関係になる論理。

(2)  $A = B$

前後が内容的に「イコール」の関係になる論理。

具体的には、「抽象とその具体例」「追加(添加)」「言い換え」等。

(3) ①  $A$  (原因)  $\rightarrow$   $B$  (結果) /  $B$  (結果)  $\leftarrow$   $A$  (原因)

前後が「原因とその結果」「結論とその原因」の関係になる論理。

②  $A$  (問題提起)  $\rightarrow$   $B$  (解答)

では早速、それぞれの論理を作り出す論理マーカ―を具体的に見ていくことにしよう。

(1)前後を「逆（又は対照的・対比的な）」の関係で結びつける論理マーカ―。

以下に挙げた語句によって結びつけられたAとB(前半と後半)は、内容的に「逆（又は対照的・対比的な）」の関係になる。

- ①A. But B 「A。しかしB」  
Though S + V~, S + V… 「~だけれど、…だ」  
Although S + V~, S + V… 「~だけれど、…だ」  
While S + V~, S + V… 「~だけれど、…だ」
- ②A. However, B 「A。しかしながらB」 =though,  
=A. Yet, B 「A。にもかかわらずB」  
=A. Still, B 「A。それでもなおB」  
=A. All the same, B 「A。それでもなおB」  
=A. Nevertheless, B 「A。にもかかわらずB」  
=A. Nonetheless, B 「A。にもかかわらずB」
- ③A. On the other hand, B 「A。その一方(で) B」  
=A. Meanwhile, B 「A。その一方(で) B」
- ④A. In spite of this, B 「A。これにもかかわらずB」
- ⑤Opposite to A, B 「Aとは逆に、B」
- ⑥A. On[To] the contrary, B 「A。それどころかB」
- ⑦A. In[By] contrast, B 「A。対照的にB」
- ⑧A. By comparison, B 「A。対照的にB」

- (ex) 「昔のテレビ番組は楽しかった。しかしながら、今のTVはつまらない」  
「私は、その料理はおいしいと思った。これに反して、妹はまずいと思ったようだ」  
「野球は若者に人気がある。その一方で、相撲は人気がない」  
「彼は裁判で無罪の判決を受けた。それでもなお、彼女は、彼は有罪だと言い張った」  
「彼はおとなしい女の子が好きだ。 それとは対照的に、僕はにぎやかな女の子が好きだ」

《注意事項》

- 1.上記の中で ①の**but, though, although, while** は接続詞(それ以外は全て副詞)なので、例えば空欄補充問題などで(空欄の)直後にカンマ(,)があったら、そこに入れることはできない。  
ただし、**though** だけは、文中・文末で、(カンマで区切られてたりして)用いられると、副詞になり、「しかしながら(=however)」という意味になる。  
以下はそんな副詞の **though** を用いた例文。

(ex) Ted didn't want to tell us the story; he did, though.

テッドは我々に話したがらなかった。でも結局は話してくれた  
The most important point, though, is to understand the importance  
of going over your copy more than once.

重要なことは、けれども、メモを2回以上読み返すことの大切さを理解  
することです

2. また but はなんの脈絡もなく冒頭で用いられることはない。つまり

1. 第一パラグラフの冒頭に But がきたり

2. But S + V~, S + V...

☞ S + V. But S + V... はOK。

というような使われ方はしない。

3. 「それどころか」という On the contrary は、直前の内容の程度を更に強めた  
文を導くこともある。以下の例文でも on the contrary の後ろの内容は、前  
の内容を強調している(逆接ではない)。

(ex) He's not stingy; on the contrary, he's very generous to the needy.

彼はけちではない。それどころか、困った人にはとても気前がよい

## (2) 前後を「イコール」の関係で結びつける論理マーカー。

以下の語句によって結びつけられたAとBは「イコール関係」が成立している。

BはAの内容の「具体例」や「言い換え」や「付け加え」等であったりする。内容的には両者は基本的に「イコール(又は類似)」である点がポイント。

### ① 「A (抽象) = B (その具体例)」

1. such A as B 「A。たとえばBのような」「BのようなA」  
=A such as B

2.A. For example, B 「A。たとえばB」  
=A. For instance, B

=A. To name (but) a few, B

=A, say, B

(ex) 「彼にはたくさんの長所がある。例えば、頭がいいし、性格も温和だ」

《注意事項》

such as も後ろにカンマ(,)があったら使えない。逆に for example[instance] は、通例カンマで区切って用いる。

② 「A = B (言い換え)」

- 1.A. That is to say, B 「A。すなわちB」  
=A. That is, B  
=A. Namely, B
- 2.A. In other words, B 「A。言い換えればB」
- 3.A. In short, B 「A。要するにB」  
=A. In a word, B  
=A. In brief, B  
=A. To sum up, B  
=A. (To put it) Briefly, B  
=A. (To put it) Shortly, B  
=A. To make[cut] a long story short, B

(ex) 「半年前、すなわち今年の四月に彼は大学生になった」  
「もう会いたくない。要するに君のこと嫌いなんだ」

③ 「A = B (Aの付け加え的内容)」

- 1.A~. B also~. 「Aは~だ。Bもまた~だ」  
=A~.B~, as well.
- 2.A. Besides, B 「A。更に加えてB」  
=A. Moreover, B  
=A. In addition, B  
=A. Further(more), B  
=A. What is more, B  
=A. Additionally, B
- 3.In addition to A, B 「Aに加えて、更にB」  
=Besides A, B  
=Adding to A, B  
(ex) 「私、夕食にごはん3杯食べちゃった。それに加えて(おまけに)、デザートも食べちゃった」  
「優しさに加えて、彼は誠実さも兼ね備えている」

4. Not to mention A, B 「Aは言うまでもなく、B」  
=to say nothing of A, B

④ 「A = B (Aと類似・同様の内容)」

- A. Similarly, B 「A。同様にB」
- =A. Equally, B
- =A. Likewise, B
- =A. In the same way, B

(3)前後を「原因(理由)と結果」の関係で結びつける論理マーカー。

① 「原因 ⇨ 結果」の関係

- 1.A. Thus, B 「A。その結果B」 A = 原因 (理由)
- 2.A. Therefore, B 「A。それ故B」 B = 結果
- =A. Hence, B
- =A. Accordingly, B
- =A. Consequently, B
- 3.A. As a result, B 「A。その結果としてB」
- 4.A. This is why S+V... 「A。こういうわけで…だ」
- =A. For this reason, B 「A。このような理由でB」
- =A. Because of this, B
- 5.Since S+V~, S+V... 「~なので、(その結果)…だ」
- =Because S+V~, S+V...
- S+V~. So S+V... 「~だ。それ故(だから)…だ」
- 6.Because of A, S+V... 「Aの理由で、S+V…だ」
- =Due to A
- =Owing to A
- =On account of A
- =Thanks to A

(ex) 「彼は宿題をしてこなかった。その結果、居残りをさせられた」  
「今日は風邪気味だった。それ故学校を休んだ」

## ② 「結果 ⇔ その原因(理由)」 の関係

1. S+V ~. This is because S+V... 「～だ。というのは(原因は)…だからだ」  
[結果] [原因]  
=S+V ~ ,for S+V...

2. S+V ~. [One of] The reason[s] for this is that S+V...

「～だ。その理由(の一つ)は…だ」

(ex) 「アメリカは殺人事件が多い。というのはアメリカは銃が多いからだ」

3. A. After all, B 「A。なぜならB」

(ex) It is no use getting angry with him. After all, he is only a child.  
彼のことで腹を立てても無駄だ。だって(なぜなら)まだ子供のだから

愈ももちろん after all には「[通例文尾で][意図・予想・計画などに反して)結局」  
「やはりとうとう」といった意味もある。

(ex) I thought she was going to fail the exam, but she passed after all.  
私は彼女が試験に落ちると思ったが結局は受かった(てよかった)  
So you have come after all. ほう、やっと来てくれたね

## 4. その他の頻出の論理マーカ―。

- (1)A. Instead, B

- ① 「A。それよりはむしろB」 [A ⇔ B]

「A。それどころか(ところが)B」

愈AとBは「逆(対照的・対比的)」の関係になる。

(ex) 「都会の華やかさもいいが、それよりはむしろ個人的には田舎の静けさが好きだ」

- ② 「A。その代わりにB」 [A ⇔ B]

愈BはAのまさに"代わり"となる内容になる。ただ両者の関係は、対照的に  
なることが多い。「Instead of A, B:AをせずにB」という言い方もある。

(ex) 「妹は、母の手伝いはしないで、代わりにテレビを見ていた」

- (2)A. Otherwise, B 「A。さもなければB」

愈Aは条件。Bはそれに反した場合の結果。

(ex) 「しっかり勉強しなさい。さもないと、お父さんみたいになっちゃうわよ」

[前半の条件に反した場合の結果]

(3)A. In fact, B

=A. As a matter of fact, B

①「Aだ。(ところが)実はBだ」 [A ⇔ B]

會AとBは「逆(対照的・対比的)」な関係になる

(ex)「彼は金には困っていないと言った。ところが実は借金まみれだった」

②「Aだ。それどころか実際Bだ」 [A = B (Aの程度を更に強める内容・補足  
又は具体例等)]

會BはAの程度をより強めた内容・補足、あるいは具体例等になる。

Indeed, Actually で言い換えられる。

(ex)「彼女は気にしちやいないよ。それどころか実際、喜んでいるんだよ」

會実際の英文では②の用法で用いられることが多い。

(4)A. Rather, B

①「Aだ。それどころかBだ」 [A = B (Aの程度を更に強める内容)]

=On the contrary

會BはAの程度をより強めた内容になる

(ex)「彼を尊敬なんかしちやいない。それどころか軽蔑しているよ」

②「Aだ。むしろその代わりBだ」 [A ⇔ B]

=Instead

會AとBは「逆(対照的・対比的)」の関係になる。

(ex)「自分のことばかり話すのは良くないよ。むしろその代わり人の話をよく聞くようにすべきだ」

③[A. Or rather B] 「Aだ。もっと正確に言えばB」

=A. More correctly, B [A = B]

會AとBは「イコール」の関係になる。

(ex)「僕は野球のことは詳しくない。もっと正確に言えば、ルールもろくに知らないんだ」

(5)結論を導く論理マーカー

①in conclusion 「結論として」

=as a conclusion

②in any case[event] 「いずれにせよ(しても)」

=at any rate

會これらの論理マーカーの後ろには、文字通り「結論」又は「主張の再提示」となる内容がくる。

### 3. 「論理マーカ―」 確認問題

A. 次の文章の(1)・(2)に入れるのに最も適当な語句を、それぞれ下の①~④のうちからひとつずつ選べ。

1. The ancient Romans believed that the right side of the body was the good side, ( 1 ) the left side held evil spirits. Their word for "right" *dexter*, gave us *dexterous*, which means "skillful", whereas their word for "left", *sinister*, means "evil" or "wicked". This may have created negative attitudes toward left-handedness.

But today, left-handedness is becoming more and more acceptable in society, and is even considered advantageous in some sports. ( 2 ), left-handed people do not have to feel "left out" any more.

( 1 )

①instead

②otherwise

③unless

④while

( 2 )

①Because of this

②Beginning with this

③Nonetheless

④Unfortunately

#### 【解答&解説】

( 1 )

まず選択肢を眺めると、①と②は副詞だけど③と④は接続詞だ。こんなふう**に選択肢の品詞が何種類かあった場合、入れるべき空欄の前後の「形」がまず第一のヒントになることが多い。**今回もそうなんだ。( 1 )の前後をよく見てみると、

S + V ~, ( 1 ) S + V ...

つまり( 1 )が2つの「S + V」を結びつけるような構造になっているのに気づ

くはずだ。こんな構造を導けるのは「接続詞」しかない。答えは③か④のどちらかだとわかる。

③ S + V ~, unless S + V ... 「…しない限り、～だ」

④ S<sub>1</sub> + V ~, while S<sub>2</sub> + V ... 「S<sub>1</sub>は～だ。その一方、S<sub>2</sub>は…だ」

どう見ても( 1 )の前後を結びつけるのにふさわしいのは④だね。while は、このように前後を「逆(対比的)」の関係で結びつけるんだ。

「古代ローマ人は体の右側は良い側で、その一方、左側は邪悪な精神を宿していると信じていた」

( 2 )

こちらは選択肢全て副詞句なので「形」ではなく、「論理」で答えを導く。ただ②(このことから始めて)は、ある特定の論理を導くというものではないので正解になる可能性は低いと最初に見切っている。①(このような理由で)は、前後を「原因と結果」の関係で③(それにもかかわらず)は、前後を「逆(対比的)」の関係でそれぞれ結びつける論理マーカ一だね。④(あいにく、残念ながら)は、不本意な(残念な)内容がその後にはくるだろう。次に( 2 )の前後の英文を読んでみる。

「しかし今日では、左利きは徐々に社会に受け入れられるようになって来ている。そしてある種のスポーツにおいては有利であるとさえみなされている」

( 2 )

「左利きの人は"仲間外れにされている"という気分をもう味わわなくてもよくなっている」

どうみても両者の関係は「原因と結果」の関係だね。つまり答えは①になる。

《訳》「古代ローマ人は体の右側は良い側で、その一方、左側は邪悪な精神を宿していると信じていた。古代ローマの「右」にあたる語 dexter から現代英語の dexterous ができており、これは"巧みな"を意味する。一方、彼らの「左」にあたる語 sinister は「邪悪な」や「悪意のある」を意味する。このせいで、左利きに対して否定的な態度が生まれたのかもしれない。

しかし今日では、左利きは徐々に社会に受け入れられるようになって来ている。そしてある種のスポーツにおいては有利であるとさえみなされている。このような理由で、左利きの人は"仲間外れにされている"という気分をもう味わわなくてもよくなっている」

2. Seeing bears in the wild can be one of the most memorable experiences on camping trips in national parks. ( 1 ) it can also be a dangerous one if care is not taken. Some campers make foolish mistakes. For example, they get out of their cars to take a snapshot or even try to feed the bears. ( 2 ) acting like this toward wild bears can turn an enjoyable vacation into a tragedy.

( 1 )

①Nor                    ②Otherwise            ③Therefore            ④Yet

( 2 )

①Meanwhile            ②Namely                ③Shortly                ④Unfortunately

#### 【解答&解説】

( 1 )

まず「形」から①の Nor の可能性が消える。なぜなら **Nor** は否定の接続詞で、これも文頭で使われると、否定の副詞の場合と同じようにその後は「疑問文と同じ語順」になるからだ。それから、②の otherwise(さもなければ)は、これ自体がif節と同じ意味を持っている。なのに( 1 )の直後の英文には後半に更にif節がくっついている。これは変だ。

答えは③(それ故)と④(にもかかわらず、しかしながら)に絞られた。後は「論理」。つまり③は前後を「原因と結果」の関係で、④は前後を「逆(対比的)」の関係で結びつける。どちらがいいか。

「野生の熊を見るのは国立公園でキャンプをする旅の中では最も心に残る(思い出深い)経験の一つだ」

( 1 )

「もし注意を払わなければ、危険なこともある」

両者は「逆(対比的)」の関係になっているね。答えは④だ。

( 2 )

まず②(すなわち)と③(要するに)なんだけど、これらは両方とも後ろに「直前の言い換え」

となる内容を導く論理マーカ―だ。つまり②が正解なら③も正解になりえてしまう。選択肢に同じ意味の(同じ論理を導く)ものがあつたら、それらは両方とも答えの可能性から外していい。

①(その方)は、前後を「逆(対比的)」の関係で結びつける。④(あいにく、残念ながら)は、不本意な(残念な)内容がその後にはくる。

「例えば、彼らは車から出て写真を撮ったり、あるいは熊にエサをやろうとさえしてしまう」

( 2 )

「野生の熊に対してこのように振る舞うことは、楽しいはずの休暇を悲劇に変えてしまうこともありうる」

両者を結びつけるにふさわしいのは④だね。

《訳》「野生の熊を見るのは国立公園でキャンプをする旅の中では最も心に残る(思い出深い)経験の一つだ。しかしながら、もし注意を払わなければ、危険なこともある。キャンプをする人の中には愚かな間違いをしてしまう人もいる。例えば彼らは車から出て写真を撮ったり、あるいは熊にエサをやろうとさえしてしまう。残念なことに、野生の熊に対してこのように振る舞う楽しいはずの休暇を悲劇に変えてしまうこともありうる」

3. Fainting, the condition of a brief loss of consciousness, occurs from lack of oxygen (O<sub>2</sub>) in the brain. Tension on blood vessels can lead to this condition. For example, a quick turn of the head can reduce blood flow to the brain, which naturally reduces the oxygen in the brain. ( 1 ), wearing neckties or shirts with tight collars can put pressure on the vessels. ( 2 ), the brain, lacking enough oxygen, fails to work properly.

( 1 )

①Moreover

②Anyway

③Finally

④Instead

( 2 )

①As a result

②At least

③In contrast

④What is more

## 【解答&解説】

( 1 )

まず選択肢の中で③はないだろうと予想できる。なぜなら③(最後に)は、Firstly(第一に)、Secondly(第二に)等とセットで用いることが多い。単独でいきなり文頭で、Finally なんて、評論的な英文ではまずくることはないんだ。

残りは一つ一つその導く論理を確認していこう。

①(更に加えて)は、直前の「付け加え」的な内容が後にくる。②(いずれにせよ、それはさておき)は、日本語と使い方は同じで、

(1)(すでに述べたことはさておき)「まあいずれにせよ」

(2)(一度脱線したあと話を本題に戻して)「ともかく、それはそうとして」

といった使い方をする。

④(その代わりに、むしろ)によって結ばれる前後は、多くの場合「逆(対比的)」の関係になる。それでは空欄の前後を読み比べてみよう。

「血管の緊張がこのような状態を引き起こすことがあり得る」

+

「例えば、急に頭を振ると脳への血液の流れが減少し、当然脳内の酸素が減る」

( 1 )

「ネクタイや(首周りの)きついシャツを身につけていると血管に圧力を加えてしまうこともあり得る」

空欄の前の英文は、「血管の緊張」の原因となる行為の具体例。空欄の後ろの英文はまた別の具体例。つまり「付け加え」だね。ということは正解は①ということになる。

( 2 )

②(少なくとも)は、よく but とセットで用いて前後を「逆(対比的)」の関係でつないだりする。

(ex) 「彼は、頭は悪いかもしれない。しかし少なくとも性格は良い」

①(その結果として)は、前後を「原因と結果」の関係、③(対照的に)は、前後を「逆(対照的)」の関係でそれぞれ結びつける。④(おまけに)は、moreover と同じ意味。つまり前の英文の「付け加え」的な内容がその後にはくる。では空欄の前後を読み比べてみよう。

「ネクタイや(首周りの)きついシャツを身につけていると血管に圧力を加え

てしまうこともあり得る」

( 2 )

「脳は十分な酸素が得られず、適切に機能できなくなる」

これはどう見ても「原因と結果」の関係だ。正解は①。

《訳》「気絶、すなわち意識が短時間失われる状態は、脳内の酸素の欠乏によって起こる。血管の緊張がこのような状態を引き起こすことがあり得る。例えば、急に頭を降ると脳への血液の流れが減少し、当然脳内の酸素が減る。更に加えてネクタイや(首周りの)きついシャツを身につけていると血管に圧力を加えてしまうこともあり得る。その結果、脳は十分な酸素が得られず、適切に機能できなくなる」

B. 次の問では、空欄に入れるべき三つの文が、順不同で下のA～Cに示されている。論理的な文章にするのに最も適当な配列のものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

1. One aspect of sports is winning or losing. Athletes, coaches, and spectators all agree that no one likes to lose. (        ) Recognizing these differences in attitudes will help us when talking to athletes who have lost.

A. Studies show that female athletes tend to say failure is caused by their lack of skill or effort.

B. Male athletes, on the other hand, tend to point to factors such as luck or the strength of the opponents.

C. Researchers, however, have found differences in the ways male and female athletes respond to losing.

①A-B-C        ②C-A-B        ③A-C-B

④C-B-A        ⑤B-C-A        ⑥B-A-C

【解答&解説】

まず、「論理マーカ―」をチェックする。B.の **on the other hand**(その方)がすぐ目に飛び込んでくる。これは前後を「逆(対比的)」の関係で結びつける論理マーカ―だ。つまり、B.の直前には、B.とは「逆(対比的)」な内容を持つ英文がなくてはならないわけだ。そんな英文はA.しかない。

A.「研究では、女性のスポーツ選手は負けたのは自分の技能や努力が足りないせいだと言う傾向があることを示している」

↓

on the other hand(その方)

↓

B.「男性のスポーツ選手は運とか対戦相手の力のような要因を指摘する傾向がある」

次はC.の英文中の **however** だね。これも、前後を「逆(対比的)」の関係で結びつ

ける論理マーカ―だ。

- C. 「しかしながら、研究者たちは、男性のスポーツ選手と女性のスポーツ選手では敗北に対する反応が異なっていることを明らかにしている」

「異なっている」の「逆」は「同じ、一致する」だね。そんな内容がどこに見つかるかというとき空欄の直前の英文だ。

「選手、コーチ、観客いずれも負けるのを好む者はいないという点で意見が同じだ(一致する)」

これで正解は C-A-B とわかった。

《訳》「スポーツの一つの側面として、勝ち負けがある。選手、コーチ、観客いずれも負けるのを好む者はいないという点で意見が同じだ。しかしながら研究者たちは、男性のスポーツ選手と女性のスポーツ選手では敗北に対する反応が異なっていることを明らかにしている。研究では、女性のスポーツ選手は負けたのは自分の技能や努力が足りないだと言う傾向があることを示している。その一方、男性のスポーツ選手は運とか対戦相手の力のよ―な要因を指摘する傾向がある」

2. Economic growth refers broadly to an increase in wealth over a certain period of time. ( ) Even though gross national product, GNP, is a widely used measure, there are those who argue that it is not the most appropriate.
- A. There are some differences of opinion among these specialists, though.  
B. Economists generally agree on what influences economic growth.  
C. They disagree, for example, about how they should measure economic growth.

- ①C-A-B                      ②A-C-B                      ③B-C-A  
④C-B-A                      ⑤A-B-C                      ⑥B-A-C

【解答 & 解説】

まず選択肢中の「論理マーカ―」と「指示語」をチェックする。

A.にまず二つ見つかるね。though と、these specialists の these だ。

though は、文中や文末でカンマ(,)等で区切られて用いられると however と同じ意味の副詞になるんだ。つまり前後を「逆(対比的)」の関係で結びつける。それから specialists に these がついているということは、specialists(又は specialists に相当する語)がその前で使われていたはず、と類推できる。この二つの条件を満たす英文はどれか？ それはB.だ。

B.「経済学者(Economists)達は、何が経済成長に影響を与えるのかということに関して概して意見が一致(agree)している」

⇕

A.「しかしながら、これらの専門家たちの間で、いくつかの意見の違いがある」

specialists は、economists を受けていたんだ(確かに economists は経済の専門家だね)。

さて、B-Aのつながりが分かってしまうと、後は「B-A-C」になるのか「C-A-B」になるのかという二者択一だ。これをカンタンに見極めるヒントはC.の主語の They だ。もし「C-A-B」となるなら、空欄の直前の英文中に、この They になりうる「複数名詞」があるはず。が、そのような「複数名詞」は直前の英文中にはない。ということはもう答えは「B-A-C」しかない。

《訳》「経済成長とは、広い意味ではある一定期間の間の富の増加のことを指す。経済学者たちは、何が経済成長に影響を与えるのかということに関して概して意見が一致している。しかしながらこれらの専門家達の間で、いくつかの意見の違いがある。例えば彼らはどのように経済成長を測るべきかということに関して意見が一致していない。国民総生産(GNP)は広く利用されている尺度であるにもかかわらず、それは最適なものではないと主張する専門家たちもいる」

3. Many people believe that it rains all the time in Britain. ( ) For example, London's annual rainfall is not much different from that of Paris or Berlin.

- A. However, the climate of southeast Britain is more or less the same as that of the northwestern part of the European mainland.
- B. The image of a wet, foggy land was created two thousand years ago by the Romans, who were from sunny southern Europe.
- C. This image has been preserved in modern times by Hollywood movies.

- ①B-A-C      ②C-A-B      ③A-B-C
- ④B-C-A      ⑤A-C-B      ⑥C-B-A

【解答&解説】

同じように「論理マーカ―」それから「指示語」もチェックする。すぐ目に飛び込んでくるのは、A.の **However** だ。

「しかしながらイギリス南東部の気候はヨーロッパ本土の北西部の気候と多かれ少なかれ同じなのである」

この英文と「逆(対比的)」の内容が、その前にはくるはず。

次にC.の This image の This だ。This がついているということは image(又は image に相当する語)がC.の前の英文になければならない。とするとB.の主語が The image で、これ以外、image という単語はどこにも使われていないので、B-C とつながるのでは、と類推できる。

次に着目してほしかったのは空欄の直後の For example だった。これは前後を「抽象とその具体例」という「イコール」の関係で結びつける。For example の後には、直前の英文の具体例となるような内容がくる。

「たとえば、ロンドンの年間降水量はパリやベルリンの年間降水量とそれほど変わらないのである」

この内容と「イコール関係」になりうるのはA.しかないね。これで正解は「B-C-A」と決まった。A.の However はこうしてみると、前の内容全部を受けて、それを逆転させていたんだね。

《訳》「多くの人達はイギリスではいつも雨が降っていると信じている。はじめ  
して霧が多い国というイメージは2000年前、天気のいい南ヨーロッパから  
やってきたローマ人によって作りあげられた。このイメージはハリウッド  
映画により、近年においては保持されている。しかしながら、イギリスの  
南東部の気候はヨーロッパ本土の北西部の気候と多かれ少なかれ同じなの  
である。たとえば、ロンドンの年間降水量はパリはベルリンの年間降水量  
とそれほど変わらないのである」

C. 空欄に入れるべき選択肢の組み合わせとして最もふさわしいものを一つ選べ。

The desire for peace is common to almost all human beings. History has shown, ( 1 ), that lasting peace is difficult to achieve ( 2 ) disagreements and misunderstandings between people and countries.

A. Because of                      B. But                      C. For example                      D. Though

①C-B

②C-D

③D-A

④D-B

【解答 & 解説】

まず①～④の選択肢から、先頭にくるのはC.(for example)かD.(though)だとわかる。そこでそれぞれの語の作り出す論理を考えてみる。

**for example** (たとえば) は、その前後を内容的に等しい関係で結ぶ。具体的には一般論(抽象論)とその具体例の関係になる。つまり **for example** の後には、前の内容の具体例となるような文が来る。

**though** は普通は接続詞として用られるんだけど、文中、文尾でカンマに区切られて「しかしながら(=however)」という意味になることがある(この場合、品詞的には副詞)。そしてその場合、前後を「逆(対比的)」の関係で結ぶ。

次に前後の論理を考えるわけなんだけど、今回の場合注意してほしい事が1つある。それは、( 1 ), の部分を文頭に移動させてからその論理を考えるということ。このように論理マーカ―が文中に(カンマなどではさまれて)挿入されてしまっている場合必ず文頭に移動させて、その前の文との論理を考えるようにすること。

History has shown, ( 1 ), that lasting...



( 1 ), history has shown that lasting...

つまり今回比較すべき前後の論理というのは The desire で始まる第1文と、History で始まる第2文との間の論理なんだ。

The desire for peace is common to almost all human beings.

平和への願いはほとんど全ての人類に共通のものである

( 1 ) History has shown that lasting peace is difficult to achieve...

歴史は永続的な平和を達成するのは困難であるということを明らかにしている

そうすると両者の論理は「逆(対比)」の関係になっていることがわかるね(少なくとも両者が「たとえば」で結びつくことはありえない)。

したがって正解は③(D-A)か④(D-B)のどちらかになる。

次に( 2 ) なんだけど、これは「形(構造)」から考えるとわかりやすい。つまり **But** は前後を構造的に等しい関係で結ぶんだ。ところが( 2 ) の前後は構造的に等しい形にはなっていないね。

difficult to achieve ( 2 ) disagreement and misunderstandings

形容詞+to不定詞

名詞+名詞

したがって正解は③だということになる。

《訳》「平和への願いはほとんど全ての人類に共通のものである。しかしながら歴史は、人民と国家との間の不一致や誤解の故に、永続的な平和を達成することは難しいということを明らかにしている」



同じ内容の形容詞が使われている。つまり内容的な変化がない。となるとそのような関係で前後を結びつけるのはB.の「おまけに」という意味の **Furthermore** だけ。（ 1 ）にA.が、（ 3 ）にB.がくる並びになっているのは②（A-D-B-C）だ。

《訳》「我々のほとんどは骨は乾いていると思っているけれども、生きている骨は実際乾いているなどということは全くない。まず第一に骨には湿った外層がある。更に加えて、内側には生命それ自体にとって不可欠なやわらかい湿り気を帯びた物質を骨は含んでいる。それ故、“乾いている”という言葉は、生きている骨を正確に表現したものでは全くない」

- E. 次の問では、空欄に入れるべき4つの文が、順不同で、下のA～Dに示されている。意味の通る文章にするのに最も適した配列を、①～④のうちから1つ選べ。

To stay healthy, we should maintain a balance between physical and mental play—the play of the body and of the mind. □

- A. By the time we are adults, we may stop participating in physical play altogether.  
B. As we get older, however, our games are likely to involve more mental than physical activity.  
C. When we are very young children, we use our bodies a lot when we play.  
D. As a result, we may begin to lose our physical health.

①B-A-C-D

②B-C-D-A

③C-A-D-B

④C-B-A-D

#### 【解答&解説】

まず①～④の選択肢を見ると、先頭にくる文はBかCのどちらかだとわかる。

Bの文を訳してみると

「しかしながら大きくなるにつれて、我々の遊びは身体的なものより、より精神的な活動を含むものになりがちである」

この文の中の however に注目する。「しかしながら」という **however** は、前後を「逆(対比)」の関係でつなぐ論理マーカー。ということは、Bの前にはBと逆の内容を持つ文章がないといけないということになる。つまりBは先頭にはこれないってこと。これでCが先頭にくるとわかった。正解の選択肢は③(C-A-D-B) ④(C-B-A-D)のどちらかだ。

ところでまたさっきの however の話に戻ると、however を含んだBの逆の内容を考えてみると、「小さい頃は、我々の遊びは精神的なものより身体的な活動を含むものだ」になる。これと同じような内容の文はCしかない。つまりCとBは内容的に逆の

関係になっている（即ちつながる）とわかる。とすればもう答えは④しかない。  
念のためにAとDのつながりもみておくと、Dの先頭には **as a result**「その結果として」がある。これは前後を「**原因と結果**」の関係で結ぶ論理マーカ―なんだ。そして読んでみると、AとDはまさしく原因と結果の関係になっていることがわかる。

A 「身体を使った遊びをやめる」 → D 「身体を健康を失いはじめる」  
[原因] [結果]

《訳》「健康を保つためには、我々は身体を使う遊びと頭を使う遊びつまり身体的遊びと精神的遊びのバランスをとらなくてはならない。我々は幼いときには、遊びをする場合に身体を非常に使う。しかしながら成長するにつれて、我々の遊びは身体的なものよりも、より精神的な活動を含むものになりがちである。成人する頃には身体を使う遊びに参加することを全くやめてしまう。その結果、我々は身体的な健康を失いはじめるのである」

F. 次の英文を読んで、後の問いに答えよ。

Every day we hear about the problem of hunger in Africa. Many authorities cite causes, ( 1 ) drought and overpopulation. They ( 2 ) suggest solutions, such as food aid and population control.

It is true that such realities as drought and overpopulation worsen the problem of hunger in Africa. ( 3 ), these realities are not the real cause of Africa's famine, the origin of which is poverty, and only by doing something about poverty itself can we solve the hunger problem in Africa.

I am not suggesting that we ignore the problem of drought and overpopulation. ( 4 ), I believe we should study them carefully in order to learn what lies behind them. Let us look, ( 5 ), at drought.

Insufficient rainfall is a problem for farmers all over the world. ( 6 ) it is only the truly poor who die from it. How, then, did Africans become so poor? In the past several hundred years, with the help of European colonizers, the best farm lands were taken and planted in cash crops for export, with profits going to a few of the wealthy. ( 7 ), there has not been enough food produced for the poor majority, and it is these already hungry people who are so affected by drought. ( 8 ) food aid treats symptoms, not causes, I suggest that the only longstanding solution to this problem lies, not in food aid, ( 9 ) in revising Africa's farming practices.

Now, let's look at the second problem authorities mention, ( 10 ), overpopulation. It is true that Africa's population growth rate is higher than that of any other continent. However, having many children is logical for African farmer, ( 11 ) need a lot of workers for the family farm and who know that one out of three of these children will die before adulthood. Studies from all over the world show that the best way to raise living standards is to lower birth rates, but it does not mean that lower birth rates produce higher living standards. Therefore, when African parents can be sure their children will survive and that they can earn a decent living, they will not need to have so many of them.

( 12 ), I suggest that when we hear the words drought and overpopulation in connection with famine in Africa, we keep in mind the real enemy, namely poverty.

設問 空欄(1)～(12)に入れるのに最も適した語(句)をそれぞれ①～④から選べ。なお、  
選択肢の単語は全て小文字にしてある。

- |                      |               |                |                  |
|----------------------|---------------|----------------|------------------|
| (1) ①either          | ②consequently | ③likewise      | ④such as         |
| (2) ①also            | ②but          | ③for example   | ④nevertheless    |
| (3) ①and             | ②finally      | ③therefore     | ④however         |
| (4) ①then            | ②at least     | ③moreover      | ④on the contrary |
| (5) ①such as         | ②first        | ③however       | ④though          |
| (6) ①even though     | ②by the way   | ③but           | ④then            |
| (7) ①on the contrary | ②consequently | ③second        | ④at last         |
| (8) ①this is because | ②this         | ③however       | ④since           |
| (9) ①but             | ②and          | ③by the way    | ④though          |
| (10) ①that is        | ②that of      | ③about         | ④for example     |
| (11) ①they           | ②who          | ③that          | ④which           |
| (12) ①third          | ②at last      | ③in conclusion | ④then            |

《解答》 (1)④ (2)① (3)④ (4)④ (5)② (6)③ (7)② (8)④ (9)① (10)① (11)② (12)③

《解説》

(1)「抽象」( ) 「具体例」の関係になっている。

(2)直前の文と( )のある文は並列的な構造になっている。

(3)[It is] True [that]~+逆接の論理マーカー+S+V…:「なるほど~がしかし…」

(4)( )をはさんで前後が逆(否定的表現と肯定的表現)の関係になっている。

(5)第4パラグラフ後半の Let's look at the second problem. がヒントになっている。

(6)①は文法的に入り得ない。次に前後の意味関係に注目してみると、( )をはさんで対比的な関係になっていることに注目する。

farmers all over the world ⇔ only the truly poor

(7)( )をはさんで前後の関係は原因と結果の関係になっている。

「利益は一握りの ( ) 「十分な食物が貧しい大多数の  
金持ちの所に行く」 人達には作られてこなかった」

[原因]

[結果]

(8)( )を含む文は全部で動詞が2つあるから、節(S+V)と節(S+V)をつなぐことのできる品詞(疑問詞・接続詞・関係詞)が( )には入る。  
選択肢中でそれに該当するのは since のみ。however は副詞である。

(9)not A but B:「AではなくてB」の構文。

( )をはさんで前後の関係は「抽象+( )+具体」であり、内容的にはイコールである。that is「すなわち」ならこの関係を作り得る。

(11)( )には主格の関係代名詞が入る。しかも先行詞は「人」。

また後半に and who know that~ とあり、and は前後を等しい構造で結びつけるというルールからも答えはすぐにわかるはず。

(12)結論を提示する論理マーカーが入る。

①②④はいくつかの項目を順番に列挙する際に用いるものである。

## 語句リスト

hear about[of] A:Aについて(詳しく)耳にする、聞く	wealthy:裕福な
hunger:飢餓	majority:大多数(の人建)
authority:①権威、権力	affect A:Aに影響を与える
②～する権限、職権	treat A:①Aを扱う
③[複数形で]当局、関係機関	②Aを治療する
④権威者、大家、専門家	symptom:①(望ましくない)兆候、兆し =sign
cite A:①Aを引用する、挙げる	②症状
②Aを例証する、Aを説明する	long-standing:長持ちする、長く続く
cause:(名)原因	revise A:Aを改訂する、変える
(動)～を引き起こす	practice:①練習 ②慣習、習慣 ③実行、実際
drought:かんばつ、日照り	mention A:Aについて述べる
overpopulation:人口過剰	growth:成長
solution:解決策	rate:率、割合
solve A:Aを解決する	birth rate:出生率
aid:援助	continent:大陸
control:抑制、制御	logical:論理的な、合理的な、筋が通った
worsen A:Aを更に悪化させる	=reasonable
reality:現実、事実	⇔ illogical
famine:飢饉	one out of three:3人に1人
origin:発端、起源、原因	adulthood:大人(成人)であること
poverty:貧困	raise A:Aを上げる
ignore A:[意図的に]Aを無視する	rise-rose-risen:上がる
neglect A:[不注意等で]Aを無視する	arise-arose-arisen:(問題等)が生じる
study:調査(する)	living standard:生活水準
lie:～にある	lower A:①Aを下げる、おろす
lie behind A:Aの背後にある	②A(数量)を減らす
lie in A:Aの中にある	A(速度・温度・程度)を下げる
insufficient:不十分な	A(勢い・力)を弱める
=not enough	earn A:Aを稼ぐ
rainfall:雨、降雨	decent:①(服装などが)立派な、ちゃんとした
farmer:農民	②(態度・考え・言葉・人柄などが)上品な
colonizer:入植者	③かなりの、相当な
plant A:Aを植える	earn a decent living:かなりの収入を稼ぐ
crop:作物、穀物	in connection with A:Aに関連して、関連づけて
cash crop:現金作物、換金作物	keep A in mind:Aを心に留めておく、覚えておく
export:輸出(する)	enemy:敵、敵対者
profit:利益	namely:すなわち

## 【全訳】

毎日我々はアフリカにおける飢餓の問題について耳にする。関係機関の多くは、干ばつや人口過剰といった様々な原因を挙げている。彼らはまた食料援助や人口抑制のような解決策も提案している。

なるほど干ばつや人口過剰のような現実がアフリカにおける飢餓の問題をより悪化させていることは確かである。しかしながら、これらの現実はアフリカの飢饉の本当の原因ではない。その根源は貧困なのである。そして貧困それ自体に対してなんらかのことをして初めて我々はアフリカの飢餓の問題を解決することができるのである。

私は干ばつや人口過剰の問題を無視しようと言っているのではない。むしろそれどころか、それらの背後にあるものを知るために、それら(干ばつや人口過剰)について慎重に調査すべきだと私は思っている。

雨不足は世界中の農家にとっての問題である。しかし、それが原因で死ぬのは本当に貧困な者たちのみなのである。ならばなぜアフリカ人はそんなにも貧しくなってしまったのだろうか？ 過去数百年間において、ヨーロッパの入植者達のせいで、農耕に最も適した土地は取り上げられ、輸出用の換金作物が植えられてしまい、そしてその利益は少数の裕福な者達の元へと行ってしまった。その結果として、大多数の貧しい者達のために生産される十分な食料がなかったのである。そして干ばつによってひどい影響を受けるのは既に飢餓状態にあるこれらの人々なのである。食料援助は原因ではなく、症状に対処するものであるので、唯一の長期的なこの問題に対する解決策は、食料援助にではなくアフリカの農業の慣習を変えることにあると私は提案するのである。

さて、それでは関係当局が口にする二番目の問題、即ち人口過剰の問題について見てみよう。なるほど、アフリカの人口増加率は他のいかなる大陸よりも高い。しかしながら、アフリカの農民にとってたくさんの子供を持つことは合理的なことなのである。というのは家族で営む農場ではたくさんの労働者が必要であり、子供達の3人に1人は成人になるまでに死んでしまうことを彼らは知っているからなのである。世界中で行われた調査によって、生活水準を上げるための最善の方法は、出生率を下げることだというのはわかっている。しかしそれは、出生率の低下が高い生活水準を生み出すということを意味するものではない。それ故、アフリカの親達が、自分達の子供が生き延びることができるかと確信を持たたとき、そして自分達がちゃんとした稼ぎができるかと確信を持たたときに、彼らはそんなにたくさんの子供を持つ必要がなくなるだろう。

結論として、アフリカにおける飢餓に関連して干ばつや人口過剰という言葉が我々が耳にすると、真の敵、即ち貧困というものを心に留めておくべきだと私は言いたいのだ。